

new/mode 発信!

〈ブーケ、ヘッド、ドレス 三位一体「トリニティ」展開〉

上海万博、メディア及びドレス・写真店から注

初披露

KAORUKO

ブライダルフラワーのカリスマ的存在として活躍しているKAORUKO女史。これまでに手掛けた花嫁の数は2万人に及んでいる。「揺れるブーケ」や環境問題も配慮したプリザーブドフラワーのアレンジなど、独自の感性で新たなスタイルを創造している。その実力が認められ上海万博・日本産業館横浜ウィークにおいて、横浜出身のフラワーアーティストとしてフラワーショーを開催、マスコミが殺到した。



渋谷コレクションで活躍するモデルたちが華や



—上海万博のフラワーショー、大盛況だったと聞いております。KAORUKO 上海テレビはじめ、新聞社や雑誌社などマスコミ関係者が殺到しました。日本産業館のテーマである「きれい、かわいい、きもちいい」を90分で構成されたショーで発信できた結果でしょう。日本産業館では「J-感覚」と呼び、新しい意匠をまとった日本

の文化や様式をアピールする狙いに、私のデザイン、提案が合致したのだと思います。

—特に「かわいい」は日本にとどまらず、世界で通じる言葉になりました。

KAORUKO 私は以前から「可愛い花嫁さんを創りたい」という思いから、ブーケやヘッドなどのフラワーアレンジをしてきました。最近では晩婚化から30歳を超える女性が増えています。いくつになっても「かわいらしさ」を潜在的な感覚として持っています。ブーケなどでも、その方にあった雰囲気のアレンジをしますが、洗練された大人の雰囲気のなかにも何か1つキラキラ光るものなどトレンドのものを加えたりします。出来上がった時、必ず「かわいい」という声があがります。

—「大人かわいい」という言葉もファッション誌など、女性誌が盛んに発信しています。ドレスでもフワフワした感じで、どちらかと言えば20代向けのデザインを30代半ばの女性が求めていたりするそうです。なぜ今、「かわいい」なのでしょう。KAORUKO 「かわいい」は今に始

め様に变身するアニメーション番組を見て育ちました。「ひみつのアッコちゃん」や「メルモちゃん」など、コンパクトやスティック1つで变身できます。今の世代も「セーラーMoon」や「プリキュア」など、変身するアニメーションが人気です。

—確かにごく日常的にアニメを見ていました。

KAORUKO 孫や子供に服を着せた時も必ず「かわいい」と言います。つまり、常に变身することにより「かわいくなる」ということが、イコールとなっているのです。決して「キレイ」や「カッコいい」ではなく、「かわいい」ことが女性の気持ちを抑揚させる一番の言葉なのです。潜在意識に刷り込まれた日本独自のアニメに端を発する「かわいい」は、もはや日本女性の永遠のテーマなのだ確信しています。

—ところで、上海万博で新発想のアレンジを提案されたそうですね。

KAORUKO はい。「トリニティ」アレンジです。ブーケと髪飾りとお花のドレスをアレンジした三位一体で「かわいさ」を表現したものです。三位一体を英語で表現すると「トリニティ」です。これまでもブーケと髪飾りのアレンジや、ブーケとドレスのアレンジはありましたが、そのものは目新しいことではありません。しかし異なるのは、衣裳室、ヘアメイクのご担当者が個々にアレンジするのではなく、フラワーデザイナーであるKAORUKOとして、それぞれの個性にあった雰囲気をお花を核に、トータルコーディネートします。上海万博でも「かわいい」と評価されたことから、これから日本市場でも「トリニティ」を発信し、いつまでも女

フラワーデザイナー
KAORUKO氏